

データ利活用実証プロジェクト

「Society 5.0」社会実装
モデルのあり方検討会



スマート東京実施戦略



スマート東京の実現に向けた
データプラットフォーム
構築の基本方針

データ利活用実証プロジェクト

- 官民連携データプラットフォームの先駆的事業
- 新型コロナ拡大防止に寄与する「**3密回避・混雑回避**」を軸にテーマを設定
- 実証期間
令和2年8月～11月（予定）

データ利活用実証プロジェクトの選定結果

No.	テーマ	実施者	協力企業
①	3密回避・混雑回避	(株)MYCITY	野村不動産(株)、森ビル(株)、東急不動産(株)
②		六本木商店街振興組合	日本電気(株)、三井住友カード(株)
③	交通上の混雑	(株)MaaS Tech Japan	小田急電鉄(株)、他鉄道会社等
④	バリアフリー移動支援	(株)ゼンリン	(株)ゼンリン・データコム、 レイ・フロンティア(株)、(株)ミライロ
⑤		(株)エヌ・ティ・ティ・データ	日本電信電話(株)、 (株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
⑥	防災情報	日本電気(株)	(株)セブン-イレブン・ジャパン、 (株)日通総合研究所、(株)Agoop、 (株)エヌ・ティ・ティ・データ

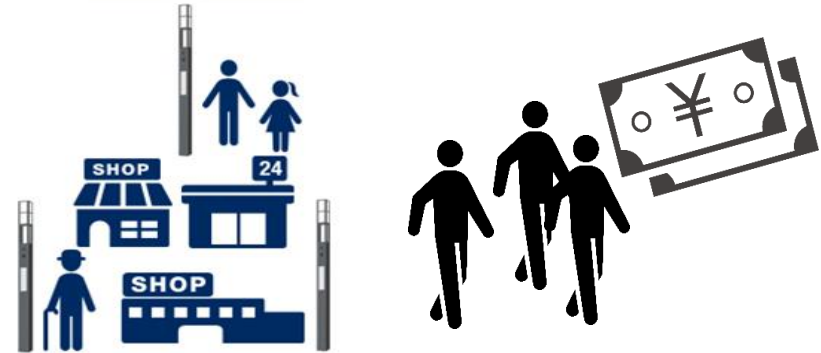
テーマ【3密回避・混雑回避】選定プロジェクト

① オフィス等での混雑状況・ 接触履歴の見える化



- 同一エリアのオフィス、ビル、ビル周辺の3つのデータで混雑を見える化し、原因と回避策を特定

② 商店街での混雑情報発信 による効果検証



- 設置カメラを活用してまちの状況を見える化するとともに、人の動きと消費動向の関連性を確認